

Cotton Up



こっとなあつぷ

Vol. 119



わたげのはんこを封筒に押して



宛名シールを貼って・・・



広報を三つ折りにして



封筒に入れて封をします

広報発送準備。各工程を手分けして担い、本誌をお届けしています！

目次

- ・「TDSN42 (Tanpopo Daily Support News)
～獲得した活動を継続していくために～」 <2～4 ページ>
- ・法人決算報告 <5 ページ>
- ・後援会のご案内・ボランティアさん大募集中！！ <6 ページ>
- ・編集後記（編集部） <6 ページ>

～獲得した活動を継続していくために～

わたげでは、作業室毎にジャグポットを設置し、利用者や職員がいつでも麦茶を飲めるようにしています。今回ご紹介するコップ洗いのスペシャリスト飯野さんは、利用者・職員合わせて約 40 個のコップを洗う活動を担っていただいています。飯野さんは、台所仕事に慣れている様子で、以前にも本誌でご紹介しましたが、自分で食べたいおかずを決めて、職員と食材を買物し、わたげで昼食を調理したり、取り組み開始当初から、大まかな手順を確認することで、一人でコップ洗いをすることができていました。しかし、長年続けていくうちに、幾つかの課題が見えてきました。

最近になり、活動後にシャツのお腹辺りが濡れている事が続きました。開始当初から、活動時はシャツに水がかかる事を防ぐためにエプロンを着用し活動を行っています。コップを洗ったり濯ぐ際に水がかかったにしては濡れすぎていますし、エプロンも着用しているはずなのですが・・・。

そこで、現在の活動状況を確認するために了解をいただき、活動場所にビデオを設置しました。何故そうしたかということ、職員を意識することなく、いつも通りにコップ洗いをする様子を見たかったからです。このビデオ映像を基に、適切にコップ洗いができるよう取り組みを行いました。



1 階の作業室から、
2 階の洗い場にコップを運びます

《評価 ～ビデオ映像から分かった事～》

ビデオには、鼻歌を歌いながらコップを洗う飯野さんの様子が映っていました。

＜コップ洗いの工程＞

①エプロンを着用する。②コップの入った籠から半数のコップをシンクの中に入れる。③スポンジに洗剤をつけコップを洗う。⑤コップを濯ぎ水切り籠に入れる⑥残り半数のコップをシンクに入れる。⑦スポンジに洗剤をつけコップを洗う。⑧コップを濯ぎ水切り籠に入れる。⑨自分のコーヒーカップを布巾で拭く。⑩エプロンを脱ぐ。

上記の工程をテンポ良く行っている一方、シャツが濡れてしまう原因がはっきりビデオに撮影されていました。ひとつ目は蛇口から出る水量が強く飛び散る事、ふたつ目はシンクの側面に付いた泡をタッパーに溜めた水で流すため、シンク外に溢れた水がシャツにかかる事です。そして飯野さんがこのようにするのは理由がありました。それは、スポンジの泡立ちが多すぎる事です。使用する洗剤は、活動前に、タッパーに入った 1 回分の洗剤を職員から受け取ります。受け取った洗剤は 1 回分。しかし実際にはコップを 2 回に分けて洗っていました。半分のコップを職員から受け取った洗剤をすべて使って洗い、残りは活動場所の生活体験室にある洗剤を自分なりに足していたのです。洗剤の量が多いため、スポンジの泡立ちが強く、濯ぐために強い水量を出す必要が生じてしまったのです。

評価の結果、洗剤の提供方法と使い方を再確認した上で、蛇口の水量の出し過ぎと、シンクの泡を

水で流す方法を解決すれば、シャツが濡れずに済みそうな事が分かりました。さらに、生活体験室にある台拭き用のタオルで手を拭く様子が映っており、台拭きと手拭きをそれぞれ用途に合わせてタオルを使用する事にも課題が見つかりました。

《計画》

コップ洗いの工程自体は十分理解しているため、大幅な変更はありません。職員から飯野さんにお伝えする事は、①受け取った洗剤を使う事。（職員が2回分の洗剤をお渡しする事）②適量の水を蛇口から出す事。③シンクの外を水で流さずに布巾で拭く事。④タオルを用途毎に使う事。の4つです。

受取った洗剤を使う事と、タオルを用途毎に使う事をお伝えする手段として、コップ洗いセットを用意しました。コップ洗いセットとは手拭き用タオル、シンクを拭くタオル、コップを拭くタオル、洗剤の入ったタッパー2個が入った道具箱です。これを食器棚に設置しました。



コップ洗いを始める前に、コップ洗いセットを食器棚から出し、タオルをタオル掛けに掛ける、活動終了時にタオルをハンガーに干す、コップ洗いセットを片付ける工程が新たに加わりました。

これらを目で見て自分で行動できるよう、チェック表を用意しました。上から順に工程が書かれており、ひとつ工程が終わる毎にチェックシールを付けていく物です。

また、蛇口を開く際に水量が強くなり過ぎないようにするためのカバーを用意しました。蛇口は上に上げる程水量が強くなるレバータイプです。カバーにより、蛇口がそれ以上に上がらないようにする事で適度な水量を出す事ができるようにしました。

《実施と再評価》

生活体験室にて、写真を活用した伝達書の内容を1つずつ指差し、説明しました。その後、ご自分でも伝達書を音読し、すぐに職員に返してきました。また、職員がコップ洗いセットの設置場所や、蛇口カバーの使い方を口頭で説明するとすぐに「はい」と答えました。普段から何かお伝えした時は「はい」と答えてくださいますが、いつもより返答が早く、きちんと伝わっているのか少し心配になりました。しかし、職員のその心配は無用だったことはすぐに分かりました。

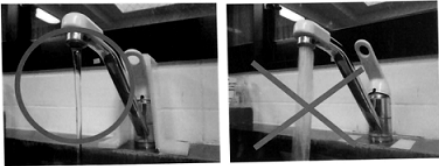
この後開始した「新コップ洗い」は、初回から、チェック表でひとつずつ工程を確認しながらその通りに行動し、一つ工程を終えるごとに自らチェックを入れる事ができていました。ご本人はお伝えした通りにできましたが、実際取り組んだ結果、チェック表の工程を改良する必要を感じました。

チェック表には、コップを洗う、コップの泡を水で流す等、工程毎にチェック欄があり、チップを貼って終わったことをチェックしていきます。職員としては、濡れた手で貼る想定でプラスチック製のチップを用意しましたが、飯野さんは、チェックの度にきちんとタオルで手を拭いていました。飯野さんのチェック表の使い方に沿い、また、一連の流れとして行動できている工程をまとめ、チェックする事が活動の妨げにならないよう改良をしました。

コップ洗い チェック表

番号	作業内容	確認
①	コップ洗いセットを出す タオルを布巾かけにかけ、布巾をシンクに置く エプロンを着る	☐
②	カゴからシンクにコップを出す	☐
③	洗剤と水をタッパーにいれる コップを洗う 水の量注意 コップの泡を水で流す→コップを置く	☐
④	カゴからシンクにコップを出す	☐
⑤	洗剤と水をタッパーにいれる コップを洗う 水の量注意 コップの泡を水で流す→コップを置く	☐
⑥	シンクの外を布巾で拭く。シンクに水をかけない	☐
⑦	コーヒー用のコップをふく	☐
⑧	エプロンを脱ぐ タオル、布巾をハンガーに干す	☐

② 水を使う時は出し過ぎに注意してください。



③ 洗剤は職員にもらった洗剤を使います。 他洗剤は使いません。



④ シンクに水をかけません シンクは布巾でふきます



チェック表と注意書き

カバーを使った蛇口の開け方については、蛇口をガイドに付くあたりまでゆっくりと上げ、カバーを意識している様子が見られました。

また、シンク側面は、水で流さずにシンク拭き用タオルで拭き取る事ができ、用途毎のタオルの使い分けができていました。新しくお伝えしたことすべてを、チェック表を手がかりに、自分で意識して活動している様子が見られました。

2日目、コップ洗いセットの場所、洗剤が入ったタッパーを置く場所が分からなかったため、それぞれの写真を各場所に貼り、分かりやすくしました。いくつかの工程をまとめたチェック表も使用することができていました。そして3日目には、すべての活動を自立して行う事ができるようになりました。数日経過した後は、職員が間違えて（すみません・・・）以前の洗剤用タッパーを用意しようとしたところ、「あ、コップ洗いリニューアルです」と教えてくださり、飯野さん自身、新コップ洗いについて、理解だけでなく必要性を感じてくれていることが伺える、うれしい出来事もありました。

《取り組みから感じた事》

今回、コップ洗いの後にシャツが濡れていることに気付いてから、上記の取り組みをスタートしました。しかし定期的な評価を行ってれば、いつもと異なる行動があった時に速やかに気付き対応できたはずです。飯野さんは新しい活動の流れを受け入れてくれましたが、自らで変えた流れをしばらく続けた後に、間違いを指摘されたり、変更や元に戻すことに抵抗を感じたり、プライドを傷つけられることもあるかもしれません。

それぞれの利用者の得意なことを活かし、新しい活動やスキルを獲得する支援に着目しがちですが、獲得した後、せっかく自信を持って自立してできるようになった活動を、適切な状態で長く続けていくために、定期的な評価をし続ける事も、とても重要な支援である事を感じました。

今回の取り組みで感じた事を活かし、日頃から継続的な評価を大切にして、より良い環境や道具、工程を検討・実施し、利用者の方々がそれぞれ得意とする作業や日中活動に、自信を持って取り組み続けていけるよう支援していきます。



これからもよろしくお願いします！

今氏照樹

法人単位資金収支計算書
(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日

第一号第一様式 (第七条関係)

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	0184 障害福祉サービス等事業収入	138,702,250	138,573,023	129,227
	0188 借入金利息補助金収入			
	0199 通常経費寄附金収入	560,200	560,200	
	0200 受取利息配当金収入	17,864	19,562	-1,698
	0201 その他の収入	3,510,910	3,503,407	7,503
	事業活動増減差額等による資金増加額			
	0202 流動資産評価損等による資金減少額	142,791,224	142,656,192	135,032
	0129 人件費支出	91,404,293	91,426,963	-22,670
	0130 事業費支出	11,091,577	11,119,720	-28,143
	0131 事務費支出	14,278,613	14,253,070	25,543
施設整備等による収支	0137 支払利息支出			
	0138 その他の支出	984,810	984,710	100
	0140 流動資産評価損等による資金減少額			
	0141 事業活動増減差額等による資金増加額	117,759,293	117,784,463	-25,170
	0203 施設整備等補助金収入	25,031,931	24,871,729	160,202
	0204 施設整備等寄附金収入	135,000	135,000	
	0206 設備資金借入金収入			
	0207 固定資産売却収入			
	0208 その他の施設整備等による収入			
	施設整備増減差額等収入計(4)	135,000	135,000	
その他の活動による収支	0143 設備資金借入金元金償還支出			
	0144 固定資産取得支出	141,300	141,284	36
	0145 固定資産売却・廃棄支出			
	0146 ファイナンス・リース債務の返済支出			
	0147 その他の施設整備等による支出			
	施設整備増減差額等支出計(5)	141,300	141,284	16
	0210 長期運営資金借入金元金償還支出			
	0211 長期運営資金借入金収入			
	0212 長期貸付金回収収入			
	0213 投資有価証券売却収入			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0214 積立資産取崩収入	46,640	46,640	
	0223 サービス区分間繰入金収入			
	0224 その他の活動による収入			
	その他の活動収入計(7)	46,640	46,640	
	0149 長期運営資金借入金元金償還支出			
	0150 長期貸付金支出			
	0151 投資有価証券取得支出			
	0152 積立資産支出	1,270,900	1,270,900	
	0161 サービス区分間繰入金支出			
	0162 その他の活動による支出			
前期末支払資金残高(12)	その他の活動支出計(8)	1,270,900	1,270,900	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,224,260	-1,224,260	
	前期末支払資金残高(12)	225,381,953	225,381,953	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	249,183,324	248,641,189	542,135

※施設整備等による収支-その他の施設整備等による支出
-381,969の差異は、わたげ・こっとなはうすの火災保険5年分の保険料の内、
長期前払金へ振り替えてある。

法人単位事業活動計算書
(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日

第二号第一様式 (第七条関係)

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	0075 障害福祉サービス等事業収益	138,573,023	134,422,949	4,150,074
	0089 通常経費寄附金収益	560,200	557,650	2,550
	0090 その他の収益	1,167,597	1,140,671	26,926
	サービス活動収益計(1)	140,300,820	136,121,270	4,179,550
	0015 人件費	92,651,223	83,339,038	9,312,185
	0016 事業費	11,119,720	10,932,444	187,276
	0017 事務費	14,253,070	20,073,191	-5,820,121
	0027 減価償却費	7,206,770	8,281,020	-1,074,250
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,406,144	-10,380,811	4,974,667
	0029 徴収不能額			
サービス活動増減の部	0030 徴収不能引当金繰入			
	0031 その他の費用			
	サービス活動費用計(2)	119,824,639	112,244,882	7,579,757
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	20,476,181	23,876,388	-3,400,207
サービス活動増減の部	0092 借入金利息補助金収益		170,500	-170,500
	0093 受取利息配当金収益	19,562	50,432	-30,870
	0096 投資有価証券評価益			
	0097 投資有価証券売却益			
	0098 その他のサービス活動外収益	2,335,810	1,668,393	667,417
	サービス活動外収益計(4)	2,335,810	1,668,393	667,417
	0033 支払利息		170,500	-170,500
	0036 投資有価証券評価損			
	0037 投資有価証券売却損			
	0038 その他のサービス活動外費用	984,710	924,560	60,150
サービス活動増減の部	サービス活動増減差額(7)=(3)+(4)-(5)	984,710	1,095,060	-110,350
	0100 施設整備等補助金収益	135,000	135,000	
	0101 施設整備等寄附金収益			
	0103 固定資産受贈額			
	0104 固定資産売却益			
	0107 サービス区分間繰入金収益			
	0110 サービス区分間固定資産移管収益			
	0111 その他の特別収益			
	特別収益計(8)	135,000	135,000	
	0040 基本金組入額			
特別増減の部	0041 資産評価損			
	0042 固定資産売却損・処分損	1	1	
	0043 国庫補助金等特別積立金取崩額(除)			
	0044 国庫補助金等特別積立金積立額	135,000	4,125,000	-3,990,000
	0045 災害損失			
	0048 サービス区分間繰入金費用			
	0051 サービス区分間固定資産移管費用			
	0052 その他の特別損失			
	特別費用計(9)	135,001	4,125,001	-3,990,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-1	-1	
繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	21,466,842	24,670,652	-2,823,810
	前期繰越活動増減差額(12)	264,419,408	239,748,756	24,670,652
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	286,266,250	264,419,408	21,846,842
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	286,266,250	264,419,408	21,846,842

法人単位貸借対照表

平成29年 3月31日現在

第三号第一様式 (第七条関係)

(単位: 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	251,963,016	228,466,700	23,496,316	0006 流動負債	3,321,827	3,078,747	243,080
1111 現金預金	229,243,682	205,809,374	23,434,308	2111 短期運営資金借入金			
1121 貸出残高				2112 事業未払金			
1131 事業未収金	21,839,760	21,823,268	16,492	2113 その他の未払金	837,736	715,676	122,060
1132 未収金	40,289	8,000	32,289	2114 支払手形			
1133 未収補助金				2121 役員等短期借入金			
1134 未収収益				2122 1年以内返済予定短期運営資金借入金			
1141 貯蔵品				2123 1年以内返済予定長期運営資金借入金			
1142 医薬品				2124 1年以内返済予定リース債務			
1144 給食用材料				2125 1年以内返済予定役員等短期借入金			
1161 立替金				2127 1年以内返済予定拠点区分間長期借入金			
1162 前払金				2128 1年以内返済予定サービス区分間長期借入金			
1163 前払費用	839,065	821,058	18,007	2129 1年以内支払予定長期未払金			
1171 1年以内回収予定長期貸付金				2131 未払費用	1,720,995	1,638,175	82,820
1174 1年以内回収予定サービス区分間長期貸付金				2132 預り金			
1175 長期貸付金				2133 職員預り金	684,199	639,789	44,410
1178 サービス区分間貸付金				2141 前受金			
1181 仮払金				2142 前受収益			
1191 その他の流動資産				2144 拠点区分間借入金			
1192 徴収不能引当金				2145 サービス区分間借入金			
0002 固定資産	230,266,449	235,808,087	-5,533,638	2151 仮受金	81,897	85,107	-3,210
0003 基本財産	169,499,545	174,735,813	-5,236,268	2152 貸付引当金			
1211 土地	83,679,372	83,679,372		2111 その他の流動負債	11,270,500	10,120,600	1,149,900
1212 建物	85,826,173	91,053,411	-5,227,238	0007 固定負債			
1221 定期預金				2311 設備資金借入金			
1222 投資有価証券				2312 長期運営資金借入金			
0004 その他の固定資産	60,766,904	61,067,274	-300,370	2313 リース債務			
1311 土地				2314 役員等長期借入金			
1312 建物	3,359,658	4,106,876	-747,218	2316 拠点区分間長期借入金			
1313 構築物	1,862,090	2,078,953	-216,863	2317 サービス区分間長期借入金			
1314 機械及び装置				2321 退職給付引当金	11,270,500	10,120,600	1,149,900
1315 車両運搬具	7	446,299	-446,292	2322 長期未払金			
1316 器具及び備品	404,042	628,221	-224,179	2311 その他の固定負債			
1317 建設仮勘定				負債の部合計	14,592,327	13,199,347	1,392,980
1319 有形リース資産							
1321 権利	67,391	78,782	-11,391	純 資 産 の 部			
1322 ソフトウェア	561,330	753,786	-192,456	0009 基本金	41,510,533	41,510,533	
1323 無形リース資産				3111 基本金	41,510,533	41,510,533	
1324 投資有価証券				0010 国庫補助金等特別積立金	97,748,934	103,028,078	-5,279,144
1325 長期貸付金				3211 国庫補助金等特別積立金	97,748,934	103,028,078	-5,279,144
1328 サービス区分間長期貸付金				0011 その他の積立金	42,111,371	42,111,371	
1329 繰越引当金及び資産	11,270,500	10,120,600	1,149,900	3221 その他の積立金	42,111,371	42,111,371	
1331 繰越引当金及び資産				0012 次期繰越活動増減差額	286,266,250	264,419,408	21,846,842
1332 その他の積立資産	42,111,371	42,111,371		3311 次期繰越活動増減差額	286,266,250	264,419,408	21,846,842
1333 繰入保証金	270,000	270,000		3312 (うち当年度活動増減差額)	21,846,842	24,670,652	-2,823,810
1334 長期前払費用	381,969		381,969				
1331 その他の固定資産	178,396	178,396		純資産の部合計	467,637,133	451,061,140	16,575,993
資産の部合計	482,229,465	464,266,787	17,962,678	負債及び純資産の部合計	482,229,465	464,266,787	17,962,678

附注
1. 繰越引当金の累計額
2. 徴収不能引当金の額

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、地域の一員として自分らしく生活していくために、必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員 1口	3,000円
	団体会員 1口	10,000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474

郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会



ボランティアさん 大募集中！！

わたげ・ふあず・こっとなはうすで、自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？

作業の検品、余暇活動の支援、清掃等、お手伝いをしていただける方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わたげ 電話：046-844-0038（担当：かいえだ）

E-mail: aaq40690@hkg.odn.ne.jp

ふあず 電話：046-888-3961（担当：さかい）

E-mail: adz13970@ams.odn.ne.jp

こっとなはうす 電話：046-852-8355（担当：ひがしがわ）

E-mail: tanpoportunosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp



編集後記 ～編集部～

日に日に暑さを感じる今日この頃。もうすぐ七夕です（皆さんのお手元に届く時には過ぎていきますね）。街のあちこちに笹や竹が置かれ、短冊が掛かっているのを見かけます。ちょっと失礼して見せてもらおうと、「〇〇大学に合格したい」「家族が元気で暮らせますように」というものから、「跳び箱3段飛べますように」「アサガオが水色で咲きますように」「ケーキが食べたい」「ウルトラマンになりたい」と、微笑ましいなあと思うものもあります。紙いっぱい書かれた願いは、その子にとっては何よりも叶えたい事なのでしょう。自分の住む地域に、これだけ様々な想いを持って暮らす人たちがいることを知り、不思議な気持ちになります。ところで、私は、主語を入れずに話を始めてしまう悪いくせがあります。自分が何か1つの事ばかり考えている時、相手もそのことを考えているはずだと思い込んでしまうのです。短冊の願い事のように、人それぞれ、いろんな想いや仕事を抱えていることを忘れず、いつも相手を思いやることのできる自分になりたい…これは私の努力次第ですね(^_^)

ちなみに、本当かどうか、短冊には「～になりたい」よりも、「～になる」と書いた方が願いが叶うそうです。
どうか、みなさまの願い事が叶いますように・・・☆ミ 庄司

編集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀3-13-21
TEL:046-844-0038/FAX:046-844-0036 E-mail: aaq40690@hkg.odn.ne.jp